

協力

62



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

プロテスタント 宣教150周年を いかに迎えるか



伝団協・会長
姫井雅夫

今から150年前を考えてみると、日本はどのような生活状況だったのだろうか。そこに文化の進んだアメリカからプロテスタントの宣教師たちが来日した。彼らの体験した苦難は大きかったと想像する。彼らの祈りと犠牲によって、今日の日本におけるプロテスタント教会と病院、学校、社会倫理などに大きな感化、影響をもたらした。このことに感謝し、彼らに敬意を払いたい。

歴史を振り返ると1828年にアメリカン・ボード伝道会社が日本伝道のために寄付金を集めていた。1846年にベッテルハイムが英国から沖縄に来ている。そして1853年にペリーの黒船が浦賀に入港した。日米通商条約が結ばれ、鎖国が解けたのが1857年。しかし、キリシタン禁令の高札が撤去されたのは1873年だ。正式な宣教師として米国監督教会からリギンズとウィリアムズが来日したのが1859年。その翌年に米国長老教会からヘボンが横浜に、米国改革派教会からフルベッキが長崎に派遣されてきた。さらにブラウン、シモンズが横浜に到着した。このようにして次々と宣教師達が日本の地を踏み、活動を開始した。キリシタンの高札撤去の前だから、非常に厳しい環境にいたことになる。

というわけだが、一応、1859年をプロテスタント宣教の年としている。そこから数えると2009年で150年になる。

現在、この記念すべき年に何をしたらよいのかと各方面で検討がなされている。伝団協としてもこのことを重く受け止め、諸教団や合同の動きがある中で協力すべきところには積極的に参与し、また教会では実施が難しいが伝道団体なら出来る企画があれば、協力して実施したいと願っている。各団体でもぜひ企画を出し、伝団協の役員会に提出していただきたい。相互に協力できるようにしていきたい。

全体としてはきっと150年間の伝道の回顧と将来への展望が語られ、まとめた書籍の発刊がなされるだろう。また合同しての感謝礼拝のような記念式典が執り行われるだろう。

プロテスタントの宣教師達によってなされた社会事業、教育、特に女子教育、ヘボンによる語学教育、自由民権運動、病院など、実に大きな足跡を回顧する事が出来る。

伝団協は「伝道」という視点で何か出来ないだろうか。皆さんからの意見を期待したい。

21世紀はアジアの世紀と言われている。アジアの端に位置している日本、韓国、中国（特に台湾）などの国々にある伝道団体、その連合体と連絡を取り合い、協力して、これから西方諸国への伝道を主の再臨に向けてなしていくべきではないかと思っている。終わりの時が近づいている。主の指示を共に仰ごう。

日本の伝統芸能を伝道に

日本伝道者協会では、日本の伝統的な芸能を伝道に活用したいということから、今年の11月8日（救世軍本営ホール）にフェスティバルを開催する運びになっています。

日本の伝統芸能は異教的な背景があるため、教会では敬遠される向きがあります。尺八で讃美歌を演奏していただいたら、虚無僧の楽器を使ったと言ってクレームが来たことがありました。逆手をとって、伝統芸能に親しみを感じている日本人への福音のアプローチとして、琴、琵琶、謡曲、日舞、能、詩吟、講談、和太鼓、さらに輪を広げてお茶を介して伝道してみようというわけです。

お茶の作法の中に、キリスト教の意味づけをする努力がさかに行なわれています。

春には雛人形が飾られます。昔は飾ったあと、人形は川に流したのです。今でも京都ではその儀式が行なわれています。その意味は、旧約時代に子羊を野に放ったのと同じ考えです。日本のしきたりの中にキリスト教的な意味合いが含まれているようです。最近では詩吟で聖句が読まれています。講談で聖書の話をもて演じている方がいます。多くの方々の賜物が隠されているのではないのでしょうか。

午前10時から始めて、午後4時までを考えています。舞台上で演奏や講演を、別室でお茶会をという嗜好です。

目下、出演していただける方々を募集中です。友人・知人でこの類に興味を持っている方、嗜んでおられる方がいましたら、お知らせください。日本の文化、芸能を伝道に大いに活用したいとの期待がわいてきています。

東海道五十三次・歩いて伝道

2009年はプロテスタント宣教150周年を記念して、総動員伝道では、新しい伝道チャレンジとして、「東海道五十三次・歩いて伝道」を企画しました。

「イエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、……また、群集を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかわいそうに思われた。」（マタイ9:35, 36）

東京日本橋から京都三条まで、全行程492.4キロメートルを、2009年8月3日から31日まで、歩いて伝道する予定をしています。日曜日は歩かないので、正味16日間になります。「タスキ・リレー」で街道沿いの教会の協力を得て、トラクト、教会案内、等を配付し、伝道集会、路傍伝道をしながら目的地に向かいます。無理のないように、計画をしています。

●目的（福音宣教）

- * 町や村を歩き、会堂（街道）で教え、福音を宣べ伝える。
- * イエスのように、憐れみの心を持ち、祈り、希望を与える。
- * 超教派の交わり。
- * 合同祈禱会、祈りの輪を広げる。
- * 友人、知人と一緒に友好を深めながらの伝道。
- * 親子と一緒に歩くことによる家族の絆を深める。

●参加要項

一緒に歩きたい方の募集

1. 事前に参加申込（参加申込書を作成）
2. 全行程歩かなくても良い。
3. 歩きたい区間を指定。
4. 区間については、後日、マニュアルを作成。

●参加条件

1. 小学4年生以上。1時間3キロのペースで歩ける健康な人。
2. 車イスで参加の方は、介助者と一緒に参加。
3. ノン・クリスチャンの方も、歓迎。
4. 参加費 3,000円
（但し、旅費・食費・宿泊費等は、自弁です。）

<募集>

- * 宿泊先近くで、集会を持ちたい教会
- * 宿泊を提供して下さる教会
- * 道案内をして下さる教会
- * 伴走車と運転手、同乗して下さる看護婦。

※上記を記載したチラシができています。ご希望の方はお申し出ください。

イベント責任者、姫井雅夫（総動員伝道 代表）

立案者 ジョン・ベネディクト、（ファミリー・フォーラム・ジャパン）

委員 浅見鶴蔵



伝道団体連絡協議会／大阪懇談会報告

2007年12月7日大阪にて伝道団体連絡協議会の懇談会を持ちました。出席は加盟団体の近畿福音放送伝道協力会から、実行委員長・山口登久師、吉木裕師、日本ミッションから高原幸男師、オブザーバーとしてシロアム企画・胎中規久馬氏、東京から会長の姫井雅夫師と総務の岡田の合計6名でした。日ごろ東京中心での話し合いや交わりが多いため、まず大阪での情報交換と交わり会を持ちたいと願っておりました。ホームページやメール、電話など、さまざまな情報交換、連絡方法はありますが、直接にお会いしお話し出来たことは感謝でした。



近畿福音放送伝道協力会では、近畿とその周辺2府8県の508教会とクリスチャン企業や個人の方によって放送伝道の働き（維持費は年間2800万円）が支えられているそうです。「祈りと支え、そして献金。」が放送伝道の働きのためには不可欠なため、継続した教会訪問でのPRは欠くことができないとのこと。また、牧師の引退や交代で新しく教会に来られた先生に働きを説明し、相互に協力してゆく関係づくりも重要となっているそうです。

毎年、定期的に委員の先生が二人一組になって教会訪問をしているそうです。このような地道な努力があって放送伝道が支えられ進められていることを、再認識いたしました。（近畿福音放送伝道協力会 <http://kinpoden.com/> のホームページが新しくなりました。ぜひご覧ください。）

JAPAN MISSION

Called to Serve

日本ミッションの高原師は、長い間、映画部の働きを担い伝道に携わってきたが、映画のフィルムを貸し出して伝道を進める方法は、DVD等が変わってしまったとのこと。しかし、全くなくなってしまったかといえばそうではないそうです。「今の子どもたちには映写機が珍しく、大人には映写機が懐かしい」「ぬくもりや触れ合いがあって良い」「初めてみる人たちには福音の映画が新鮮」との声が寄せられているそうです。「映画のライブラリーは400本近くあり、良い福音映画ばかりだ。出張上映は現代にあってアナログな方法かもしれないが、求められれば可能な限り続けて行きたい」と語っておられました。日本ミッションは、英会話「JOYクラブ」の働きや、伝道新聞「よるこびの泉」の発行を通して福音を広めてゆきたいとのこと。

今回、加盟団体の今を知り、さまざまな伝道のことが話される中で、伝団協の通常の働きや、プロテスタント150周年記念への参加を通して、何を計画し進めることが良いのか、何を具体的にすればよいのか、を考えています。（記・岡田）

公 告

下記の通り、伝道団体連絡協議会 年次総会を開催致します。

- 日時 2008年4月21日(月) 午後2時～4時
 - 場所 お茶の水クリスチャン・センター 415号室
- *やむを得ず出席できない団体は、委任状の提出をお願いします。

事務所変更のお知らせ

- 小さなのちを守る会
＜本部 代表・水谷 潔＞
〒486-0913 愛知県春日井市相原町4-110 ベルデュール春日井305
電話／FAX. 0568-70-6303 eメール hax34400@tree.odn.ne.jp
＜東京支部 会長・辻岡健象＞
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉2-25-12
電話／FAX. 042-574-7576
- 福音主義医療関係者協議会（EMF）会長・下内 昭
〒590-0976 堺市堺区大浜南町2-8-23 にしきこどもクリニック内
電話.072-225-3535 FAX.072-225-3550

伝団協ホームページを 活用しましょう

加盟団体のためのホームページです。

1. アクセスしてください

www.dendankyo.com

まずは、ご覧ください。
伝団協の働きの全体や企画、
また加盟団体をお互いに
知りましょう。

2. 情報を送ってください

info@dendankyo.com

貴団体の企画、ニュースなどの
情報があれば、
メールでお知らせください。

3. リンクを張ってください

貴団体のホームページがあれば、
ぜひ伝団協のホームページへの
リンクをはってください。



NEWS FLASH

伝団協 加盟団体の 近況・祈りの課題

2008年1月15日(火)午後2時から、お茶の水クリスチャン・センターにて「新年情報交換会」が持たれました。参加団体は、高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)、小さないのちを守る会、日本国際飢餓対策機構、ブリッジス・フォー・ピース・ジャパン、総動員伝道、日本キリスト伝道会、日本伝道者協力会、日本聖書協会、いのちのこば社、太平洋放送協会 (PBA)、JTJ宣教神学校でした (11団体 / 11名参加) 各団体の祈りの課題を分かち合い、グループに分かれて祈り合うことができました。

2008年1月22日(火)の4時から東京中央教会にて持たれている断食祈禱聖会の中で伝道団体のために祈っていただきました。まず、5つの団体 (日本聖書協会、総動員伝道、日本伝道者協力会、小さないのちを守る会、いのちのこば社) から10分ずつ祈りの課題を発表していただき、その団体ごとに祈る時間を持っていただきました。また、当日出席できない団体につきましては、情報交換会の時に出された課題を一覧表にして配布し、祈っていただけるようにしました。その時一覧表にした祈禱課題を掲載しました。引き続きお祈りに覚えていただければ感謝です。

●日本伝道者協力会

開催するセミナーが祝され、若手伝道者が起こされますように。

●日本聖書協会

新共同訳発行20周年を記念して、ますますの聖書の伝道・普及のために (若者用=まんが聖書 / 子供用=絵本) 手話訳の普及と海外聖書製作プロジェクトのために。

●アジアアクセス

現在新総裁の選出手続き中です。ブルース・ジョンソン総裁代行のリーダーシップと新総裁選出のためにお祈りください。

●いのちのこば社伝道グループ

全国で聖書フェアーを開催中。 <テーマ>聖書を読む、学ぶ、聴く。聖書、新実用聖書注解、バイリンガル聖書、聴く聖書 (CD)、バイリンガルこどもバイブルなどを紹介しています。学びや信仰の養いに役立てて頂くことができるようにお祈りください。

●近畿福音放送伝道協力会

近畿福音放送伝道協力会 (近放伝) は教会と協力してメディア伝道を進めています。◇テレビ、ラジオによる放送伝道を通して、さらに福音が伝えられますように。◇「教会協力による相互成長」という理念のもとで、宣教と伝道プログラムを推進します。◇計画と働きが祝福されますように。

●CLCブックス (クリスチャン文書伝道団)

CLCでは働き人の中で定年を迎える者が何人かおられます。後継者が与えられ、良い文書伝道の業に励むことができるようにお祈りいただければ幸いです。

●高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)

スタッフたちの霊性と健康が守られ、高校生伝道が進められるようにお祈りください。若い人材が育ちますように。

●国際ナビゲーター

職域伝道・親族伝道・学生伝道における実が今年、多く与えられますように。次世代の働き人が与えられますように。

●JTJ宣教神学校

JTJ宣教神学校の通信生の交流と親交を深めるため、全国12地区で計20回のスクーリングが実行できますようにお祈りください。

●総動員伝道

東海道五十三次・歩いて伝道の計画のために。積極的な宣教、人材、財政についてお祈りください。

●太平洋放送協会 (PBA)

良い番組を放送することができ、信仰に導かれる方が多くおこされますように。◇スタッフの健康が支えられますように。◇公益法人の制度改革が行われます。最善の道に導かれるようにお祈りください。

●小さないのちを守る会

特に10代の若い人たちがいのちの尊さを体験し、信仰をもって神に立ち帰り、潔い人生を送ることができるようにお祈りください。

●ハーベストタイム・ミニストリーズ

インターネットTVとラジオの充実を願っております。お祈りをお願いいたします。

●日本キリスト伝道会

日本伝道の幻を語る会は本年 (2008年) で40回目となります。一千万救霊の魂に向かって前進できるように、夏期キャラバンは昨年に続き、網走に行きます。各エヴァンゼリストが用いられるようにお祈りください。

●日本国際飢餓対策機構

当機構の理念が徹底されるための海外パートナーとの協力関係作りが進みますように。◇海外赴任中の11人のスタッフ、また派遣準備中の1人のスタッフのためにお祈りください。◇日本で神の国が実現されるために教会に仕える新しい部門作りの準備のためにお祈りください。

●日本ミッション

スタッフ高齢化、活動範囲が縮小しています。新しい幻 (ビジョン) が与えられ、後継者が備えられるように。月刊誌「よるこびの泉」の拡充ができるようにお祈りください。

●ブリッジス・フォー・ピース・ジャパン

今年、イスラエル建国60年です。主の平和が来ますように。◇マーチ・オブ・ザ・リビングツアーを開催します。4月29日から12日間の予定でイスラエルとポーランドを訪問します。よいツアーとなりますように。◇スティーブンス・栄子氏が体調を崩しています。健康回復のためにお祈りください。◇10月にCEOのビルマ氏夫妻の来日のために。

『協力』62号

発行日:2008年3月31日

発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室

TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com

発行者: 姫井雅夫